

◎観瀾校のコミュニティ

地域の活力を生かし、地域の人々を学校に取り組み込むこと。つまり、地域の人々による学校支援のこと。

つなぐ 64号

小城市立小中一貫校
芦刈観瀾校
H27. 12. 2 (水)
文責：白井

◆本通信は、地域の方々との連携による芦刈観瀾校の教育活動を保護者の皆様にお知らせするものです。さまざまな取り組みによって子どもたちが「豊かな心と確かな学力」を育てていく様子をお伝えしています。

◆昨年度まで本通信で紹介していました芦刈観瀾校小中一貫の取組につきましては、学校通信「ともに」でお伝えしております。

地域ボランティアの方々の支援による活動 10～11月編

社会科「郷土をひらく～芦刈干拓の歴史～」 (4年生) 10/5(月)



社会科の地域学習で、地域ボランティアの先生を講師に招きました。芦刈という地名の由来や200年前からの干拓の歴史など、説明を熱心に聞き入っていました。

子ども達は、芦刈町が有明海だったという証拠の牡蠣の殻を見せてもらい、驚きの声をあげていました。

全校クリーン作戦(1～9年生)11/7(土) — 芦刈っ子も地域に貢献 —



1年生から9年生までが、縦割りグループで協力し、町内(学校周辺)の清掃活動を行いました。自分達が住む町をきれいにしようと、低学年の子ども達も張り切ってごみを拾っていました。いつもお世話になっている地域に、少しでも貢献できたことに、大満足です。

調理実習支援「ごはんのみそ汁」 (5年生) 11/17、11/19

ごはんもみそ汁も最高の味。ボランティアの先生方との試食タイムは、みんなとってもいい笑顔です。



芦刈音頭保存会の皆さんにご指導いただき、2年生が元気いっぱいに踊りました。



芦刈音頭保存会の皆さん

総合的な学習(7年生)10/14(水)

芦刈町の歴史、偉人、太鼓浮立など、インターネットや図書資料で調べても分からないことをグループごとに質問し、真剣にメモを取っていました。その成果は、文化発表会の7年生発表で見事に披露されました。



芦刈音頭講習会(2年生)11/26(木)



のびのびと踊る2年生

地域ボランティアの先生方との交流

家庭科のミシン縫いの実習でお世話になったボランティアの先生方に、5年生、6年生がお礼の手紙を書いて渡しました。フェルト布で作ったしおりや、ティッシュカバーを添えて。どの子ども達の手紙にも、「声をかけてくださったので、手順をまちがえずにきちんとぬうことができました。」

「アドバイスがとても分かりやすく、上手に作るコツをたくさん知ることができました。」

「たくさん教えてもらったことも、今では自分で考えてできるようになりました。」などと、先生方のサポートに感謝する気持ちや自分自身の成長を実感する言葉があふれていました。

ボランティアの先生方は、思いがけない「プレゼント」をたいへん喜ばれ、子ども達へのお礼として、手紙や手作りの小物までいただきました。その手紙には、子ども達の熱心さ、ボランティアの先生方の助言を聞き入れる素直さ、また、子ども達同士が聞き合い、学び合いながら作業を進める様子に感心したことが書かれていました。そして、子ども達と過ごしたことで、心が和んだと…。

ボランティアとして学校に来ていただくことによって、地域の皆様にとっても学校や子ども達を知るいい機会となっているようです。こうして、子ども達との交流を深め、芦刈観瀾校の頼もしい「応援団」になっていただいていることに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。と同時に、子ども達の心を豊かに育む大きな力となっていることを、改めて感じました。



2学期の今後の予定

12/8 3年 人権教室
※小城市の人権擁護委員さんによる人権を考える学習です。

12/18 5年 大豆の収穫
※小城市農村青年クラブとJAの協力を得て、1月にはみそ作りに挑戦します。

